

# 平成29年度 第1回京都市保健所運営協議会 摘録

平成29年4月28日(金)  
午後1時30分～午後2時40分  
京都ロイヤルホテル&スパ 翠峰

## 1 出席者(敬称略)

### <委員>

○関係団体代表委員 京都府医師会：禹 満 京都府歯科医師会：岸本 知弘  
京都府薬剤師会：三上 由美 京都市保健協議会連合会：堺 紀恵子

○各保健センター  
運営協議会代表委員 北：(欠席) 上京：塚田 英昭 左京：(欠席)  
中京：伊豆田 富美子 東山：(欠席) 山科：(欠席)  
下京：(欠席) 南：道下 富喜恵 右京：福島 修  
西京：安田 桂子 伏見：小川 正雄

### <各保健センター>

○健康づくり推進課長 北：東 美佐枝 上京：吉川 篤 左京：井上 達也  
中京：藤木 完治 東山：藪 恵子 山科：山内 美代子  
下京：林 浩子 南：水口 典子 右京：前川 宗博  
西京：櫻井 明弘 伏見：中島 名美子

### <事務局>

○京都市保健所 京都市保健所長：谷口 隆司 京都市保健所次長：久保 敦  
京都市保健所次長：別府 正弘 健康長寿のまち・京都推進室長：原田 孝始  
保健担当部長：吉山 真紀子 医療衛生推進室長：中谷 繁雄  
医療衛生担当部長：太田 眞一 子ども若者はぐくみ局担当部長：有本 晃子  
(健康長寿企画課) 健康長寿企画課長：塩山 晃弘 健康長寿推進担当課長：小西 直人  
企画係長：山田 賞晃 企画調査担当：大西 良輔, 半邊 友也  
(障害保健福祉推進室) 社会参加推進課長：大西 則嘉  
(健康安全課) 健康安全課長：中村 正樹 感染症予防担当課長：安藤 えつ子  
(医務衛生課) 医務衛生課長：折戸 淳

## 2 開催あいさつ

谷口所長： 本日は大変お忙しいところをお集まりいただき、また、日頃から本市保健衛生行政に御支援、御協力を賜り、御礼申し上げます。

本市においては、市民のニーズが多様化する中、より質の高いサービスを提供するため、今年度、大規模な機構改革を実施した。具体的には、子ども、青少年に対する施策を一元的に所管、推進する「子ども若者はぐくみ局」の創設に加え、「健康長寿のまち・京都」の取組を強力に推進する「健康長寿のまち・京都推進室」を新たに設置した。

また、違法な「民泊」の適正化に向けた指導業務や、感染症、食中毒など健康危機管理業務をより専門性を高め、機動的かつ重点的に対応するため、各区役所の衛生課業務を集約した「医療衛生センター」を設置した。

さらに、5月8日からは、各区役所・支所の福祉部、保健部の垣根を取り払い、「保健福祉センター」として新たに位置付け、市民に分かりやすい「子どもはぐくみ室」、「健康長寿推進課」等の6つの相談窓口にも再編する。

今年度の保健所運営方針においては、こうした機構改革による保健所機能の強化に加え、「京都市民健康づくりプラン（第2次）」をはじめとした各保健施策に関する計画の見直しや策定などを重点取組として掲げ、取り組んでまいらる。

本日も委員の方々からの忌憚のない御意見をいただき、これらの取組の推進につなげてまいりたいので、よろしく願います。

### 3 議事

#### ○議題・報告（1）～（3）について

（事務局から資料説明のうえ、質疑応答等）

禹委員：保健所運営方針において、「BCG予防接種の個別医療機関での委託実施と集団接種の併用実施を開始する」と説明があったが、多くの接種医がBCGの接種経験がないため、6月に京都府医師会で接種医を対象に2回研修会の実施を予定している。研修会を受講のうえ、医師が希望すれば個別接種を実施することとなっている。6～8月に各保健センターで集団接種が行われると思うが、希望する医師ないし看護師が5名程度、集団接種会場を見学させていただき、正しい接種部位・方法や薬液の溶解・破棄の方法、接種部位のアルコール消毒、接種後の対応など、一連のBCG予防接種の手本を見せていただきたい。また、集団接種会場における説明についてもよろしく願いたい。

三上委員：「京都市口腔保健推進実施計画（仮称）」の策定について説明があった。たばこの害についていろいろな意見があり、「スヌース」という口内にずっと入れておく無煙タバコがあるようだが、この計画とこういったたばこは大きく関わってくると思う。所管の部署同士での情報共有はしっかりと図っていくのか。

吉山部長：最近では新型のたばこがいろいろと開発されており、保健所としても注目している。歯科口腔保健と関わってくるものであれば、情報共有等、しっかりと連携していく。

岸本委員：歯科医師会としても京都市に対して指針の見直し等を要望しているところである。京都市内でも禁煙や分煙の施設があるが、禁煙であっても無煙タバコであれば使用できるといった場所もある。たばこの概念がいろいろと言われる中で、健康のことを考えると、アプローチも通り一辺倒ではいけないと思うので、委員の皆様からも意見等があれば京都市や歯科医師会に願いたい。京都市ともしっかりと協議していききたいと思う。

堺委員：組織改編に関しては、順調に事が運ぶことを願う。

塚田委員：胃がん検診について、今年度から内視鏡検査を実施するとあるが、実際にいつから始まるのか。エックス線検査はすでに始まっているが、内視鏡検査は年度途中からされるのか。

吉山部長：国のがん検診の指針にもあり、今年度から内視鏡検査を実施することとなった。エックス線検査は引き続き実施したうえで、新たに内視鏡検査を実施するものである。実施時期については、できるだけ早期に実施してまいりたい。

原田室長：医師会の協力の下、今年度はABC検診についても実施していく。6月中旬頃から受け付けられるよう、早急に進めてまいりたい。

塚田委員：お年寄りの介護や在宅医療などいろいろな計画やプロジェクトがあり、医師会からも多数の団体の会議等に出向かないといけない。一つにまとめるなど、数を少なくすることはできないのか。

原田室長：すぐ結論を出すことは難しいが、そういった会議等を開催する際には、ひとつひとつ検討していく。

道下委員：「健康長寿のまち・京都」の取組について、南区でもこれからいろいろと実施していききたいと思う。

原田室長：今回の組織改正を踏まえ、全市的に地域の皆様と協力して「健康長寿のまち・京都」の取組を進めてまいりたいと考えているので、そういった力強いお言葉に感謝申し上げる。ご出

席の皆様におかれても、御協力をよろしくお願い申し上げます。

福州委員： 今回の「子ども若者はぐくみ局」の創設、「保健福祉局」の組織改正で大変大きく変わったと思うが、ある程度知識があっても、どこの窓口に行ったらよいのかわかりにくい部分もあると思う。一般市民の方については尚更だと思うので、混乱なく進めていただきたい。

また、ABC検診について、対象や方法、実施後の指導等はどのようにするのか。

吉山部長： ABC検診は40、45、50、55、60、65歳の方を対象とした節目検診を予定しており、方法としては血液検査によるピロリ菌と胃の粘膜の状態を検査するものとなる。異常がなければ、2年に1回の内視鏡検査又はエックス線検査を勧奨することとなるが、異常があれば、医療機関の受診を勧奨することとなる。

小川委員： 伏見区は38学区、約1,420人の保健委員がいるが、「保健福祉センター」が設置されれば、保健センターがなくなり、保健委員の仕事もなくなるのではという悪い噂が流れている。そのあたりについて、早期の地域住民への周知をお願いします。

塩山課長： 保健協議会については、各区役所・支所の健康長寿推進課地域支援担当が担当となる。また、保健委員の皆様には、アウトリーチの取組等に御協力いただきたいと考えている。誤解のないよう、保健協議会の定例会等でもしっかりと説明していく。

小川委員： 学区内等でも説明していかないといけないので、できるだけ早くお願いしたい。

禹委員： 今まで保健センターにおいて実施されてきたB型肝炎、C型肝炎の予防接種や青年期健康診査が各医療機関への委託に移行されることについては、京都府医師会においてもその実施する内容について会員に周知しているが、その背景にある「子ども若者はぐくみ局」の創設に関する事、「保健福祉センター」が設置されることについては、まだまだ周知されていない。特に地区医師会の会員に、組織改正について十分に周知していただきたい。京都府医師会においても一定説明はしているが、とても説明しきれない。自分自身も何度か説明を受けているが、一度で把握しきれない部分もあり、何度聞いても新たな発見がある。市民の方に対しても、一度説明したら終わりではなく、繰り返し何らかの形で説明をお願いします。

岸本委員： 変更された内容についてクローズアップされているが、変更されていない内容についても重要なことがあると思う。市民の方に対して十分に説明が行き届くよう、変更された内容だけの説明でなく、変更していない内容も含めた形で説明をお願いしたい。

また、「京都市口腔保健推進実施計画（仮称）」が策定予定であり、歯科医師会としても協力していきたいと思っているが、組織改正の後というのは見落としが出てくることが多いと思う。また、兼職の職員も多数いると思うが、兼職により広い視野で連携していくという反面、見落とし部分が出る可能性も否めないと思う。市民の健康のため、手を取り合って取組を進めていきたいが、関係団体の声についても、今後ともしっかりと聞いていただきたい。

#### 4 閉会あいさつ

久保次長： 本日はお忙しいところ御意見をいただき、御礼申し上げます。

今回の組織改正は非常に大規模であるので、混乱のないようしっかりと説明してまいります。5月8日の区役所・支所の窓口改変については、来所された方がわかりやすいよう、各区役所・支所で工夫を凝らし、取組を進めているところである。できるだけ混乱のないようにしっかりと取り組んでいく。

また、今回の組織改正の大きな柱として、地域に出向いていくアウトリーチ事業に関しては、健康長寿推進課のみでなく、子ども・障害者分野、生活保護等を含め、総合的に取り組んでいく。その第一歩として、今回の組織改正の内容や目的、今後の展開等をそれぞれの部署において、地域に出向いてしっかりと説明していくことで、先程の御意見に対応できるよう努めていく。

基本的な事業に関しては大きく見直しはせず、継続して実施していくので、その点についてもあわせて機会があるごとに、しっかりと周知していきたい。

こういった会議での意見をお聞かせいただき、来年度に向けて共に検討、改善を進めてまいりたいと思うので、引き続き御協力をお願い申し上げます。

最後に、保健福祉局と子ども若者はぐくみ局について、今後しっかり連携を図り、重なる部分も多いが、見落としがないように取り組んでまいりますので、よろしくようお願い申し上げます。